



# たけまさ公一 後援会報

2017年11月20日号外

## 地域から、国政新時代

発行 たけまさ公一後援会

住所 〒330-0074

さいたま市浦和区北浦和3-6-11 松本ビル2F

電話 048-832-3810 FAX 048-832-3846

メール voice@takemasa-k.jp URL takemasa-k.jp

### ◇問答無用の政治、政治の私物化復活

特別国会では政府与党より、野党の質疑時間削減要求が行われました。「与党が3分の2以上の議席を得たから」だそうです。その結果、11月15日に行われた文部科学委員会では全審議時間の約6割が政府与党の答弁と質問時間に割かれ、野党質問時間は4割となってしまいました(朝日新聞の分析)。これでは、「国民の知る権利」が後退してしまいます。

また、加計学園獣医学部の認可が前日の11月14日林文部科学大臣によっておろされました。安倍総理外遊中に「するっ」と、国会審議も経ずにです。このことも「選挙で信任を得たから許される」と言うのでしょうか。「国民に厳しくお友達には優しい」政治の私物化が認められたのだというのでしょうか。「否」と私は考えます。



### ◇埼玉県内投票率は戦後最低

埼玉県選管によると衆院選の県内投票率は51.44%で前回を下回り戦後最低を更新しました。埼玉1区もです。

過半数の有権者が投票に行かない状況で4割の得票で得た7割の議席(小選挙区制度ゆえに)を持って「信任を得たから野党の質疑時間を削れる」「信任を得たから政治の私物化は許される」ではないはずで

### ◇国会外から民主主義強化の改善4点

埼玉県内の投票率が過去最低(埼玉1区も)となった理由は以下四点と考えます。

- 1、首相の解散権の乱用
- 2、野党民進党の急な解党新党
- 3、高校主権者教育の未検証
- 4、期日前投票の未拡充と時間の未拡大

です。

- 1、国会冒頭の解散は争点なき衆議院選挙を招いた最大の理由。首相の解散

権制約を憲法上求める必要があります。

2、野党民進党にも責任があります。公示12日前の解党新党が有権者の皆さんに混乱を与えたことは否めません。これも政党が任意団体の扱いだから許されること。政党法などで急な解党新党ができないようにタガをはめるべきです。

3、18歳19歳の投票率は昨年参議院選挙を下回りました(総務省抽出調査)。特に19歳の落ち込みが激しくなっています。再三文科大臣に求めた高校の主権者教育がどのように行われているかの検証が欠かせません。中学校小学校への主権者教育の拡大とともに求めてゆきます。

4、さいたま市内でも期日前投票所で1時間半待ち。投票あきらめて帰る方が続出と報じられました。すでに法改正は済み、投票所の拡充投票時間の拡大などが可能。後は自治体の決断だけです。

以上4点の改善を行うことを求め、国会外から活動を行います。

**たけまさ公一後援会主催  
クリスマスパーティー2017**

日時 **2017年12月23日(土)**  
午後1時開会

会場 **浦和ワシントンホテル  
プリムローズ**

参加費 **3,500円**

お申し込みはたけまさ公一後援会まで



**たけまさ公一のプロフィール**



昭和36年(1961年)生まれ/木崎小・中学校  
県立浦和高校/慶應義塾大学法学部政治学科卒  
(財)松下政経塾

前衆議院議員  
元外務副大臣 元財務副大臣  
元衆議院憲法審査会会長代理

- さいたま市ラグビーフットボール連盟会長
- 浦和レッズ後援会理事
- 埼玉県ボウラース連盟会長

**たけまさ公一  
の主な活動地域  
埼玉県第1区**



**たけまさ公一後援会**

さいたま市浦和区北浦和3-6-11 松本ビル2F TEL 048-832-3810 FAX 048-832-3846

たけまさ公一  
公式サイト・公式SNS  
のご案内

E-mail  
voice@takemasa-k.jp



公式サイト  
takemasa-k.jp



ツイッター  
@takemasakoichi



facebookページ  
takemasa.today



公式LINE@  
たけまさ公一